

---

# プログラム

---

10:00 受付開始

10:30 開会式 司会：公益社団法人京都府介護支援専門員会 理事 中平 克樹  
挨拶：公益社団法人京都府介護支援専門員会 会長 井上 基

10:35 基調講演 タイトル：  
介護保険を取り巻く状況から介護支援専門員の役割を考える  
～今後求められる介護支援専門員像～  
講師：  
厚生労働省 老健局 振興課 課長補佐 川島 英紀 氏

12:00 昼食休憩

13:00 研究発表 コーディネーター：  
公益社団法人京都府介護支援専門員会 常任理事 高木 はるみ  
コメンテーター：  
公益社団法人京都府介護支援専門員会 会長 井上 基

□ 頭 発 表 演題 1 ～ 演題 2

(休憩 15分)

□ 頭 発 表 演題 3 ～ 演題 4

(休憩 15分)

□ 頭 発 表 演題 5 ～ 演題 6

(休憩 5分)

ポスター発表 演題 7

16:00 講 評 公益社団法人京都府介護支援専門員会 教育・研究委員会

16:20 表 彰 式

16:25 閉 会 式 挨拶：公益社団法人京都府介護支援専門員会 副会長 松本 善則

16:30 閉 会

---

# 研究発表

---

## 【テーマ】

地域共生社会の実現に向けて～介護支援専門員に求められるものとは～

## 【コーディネーター】

公益社団法人京都府介護支援専門員会 常任理事 高木 はるみ

## 【コメンテーター】

公益社団法人京都府介護支援専門員会 会長 井上 基

---

### 演題 1

人生の最終段階における意思決定支援にどう関わればいいのか？

～命の選択の場面でケアマネジャーができること～

(渡辺西賀茂診療所居宅介護支援事業所 小長谷 純子)

---

### 演題 2

障害受容過程の見極めとその時期の関わり方

～社会復帰に至る5年間のターニングポイント～

(ヴィラ向島居宅介護支援事業所 坂元 響)

---

### 演題 3

利用者家族からハラスメント行為を受けながらも、支援を続けてきたヘルパー事業所

～ヘルパー事業所に対してケアマネジャーが取り得る有効な方法～

(社会医療法人西陣健康会 居宅介護支援事業所堀川病院 長谷川 隆司)

---

### 演題 4

在宅における虐待の可能性のある事例を通した一考察

～虐待通報からのケアマネジャーの思いとやるべき事について～

(医療法人同仁会居宅介護支援マムステーション 内田 秀行)

---

---

# 研 究 発 表

---

## 演題 5

白内障の手術を受けて視機能が改善したことで被害妄想が軽減し

QOL の改善が図られた事例の一考察

(合資会社小春日和居宅介護支援事業所 松味 喜久代)

---

## 演題 6

独居高齢者の『在宅死』の意思を尊重して

～「最期まで自宅で過ごしたい」との希望を叶えるために～

(南丹市社会福祉協議会ほほえみ八木居宅介護支援事業所 國府 美幸)

---

## 演題 7 (ポスター発表)

多職種で作成した在宅看取りフローチャートを活用した住民啓発事業

(和東町在宅介護支援センターなのはな 村上 晶之)

---